

カナディアンロッキーが黄金色に染まる秋

お申込みは
こちら

秋のカナディアンロッキー 黄葉ベストハイキング 9日間

9月になるとカナディアンロッキーはポプラやアスペン、カラマツが色つき、山域は黄金色に彩られます。新雪を抱いた山脈と青く輝く氷河湖、そして黄葉のコントラストは息を呑むほどの美しさです。嬉しい連泊型で黄葉ハイクを楽しみましょう。有名な景勝地にも訪れるため、ロッキー初体験の方にもお勧めです。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
残2 9/22(月)～9/30(火)	¥762,000



私がご案内します
石塚 体一
(いしづか たいいち)

- 燃油サーチャージ(2025年6月1日現在:目安約58,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
 - 当コースは事前にカナダのeTA(電子渡航証)の取得が別途必要となります。詳しくはお問い合わせください。
 - ツアーリーダー(添乗員): カルガリーからカルガリーまで同行します。
 - 最少催行人数: 10人 ●食事: 朝7回、昼3回、夕4回
 - 利用予定ホテル: Cクラス以上。キャンモア/キャンモア・イン・アンド・スイーツ クロッシング/クロッシング バンフ/プリュースター・マウンテン・ロッジ
 - 一人部屋利用追加料金: ¥166,000
 - 利用予定航空会社: エア・カナダ、ウエストジェット
- ※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。

秋ならではの自然美を凝縮した 厳選のハイキングコース

本ツアーには、黄葉の見ごろを迎えるハイキングコースの名所を全てつめこみました。ロッキーを代表する氷河湖、モレーンレイクから始まり、3,000m級の山が連なるテンピークスとカラマツの黄葉の展望地を目指すラーチバレー、コロンビア大氷原を望むパーカーリッジ、ポプラの黄葉が一面に広がり、ロッキー山脈と大平原の広大な景色を望むMt.ヤムナスカなど、カナディアンロッキーならではの絶景ハイキングを楽しめます。また、氷河湖は季節とともに色彩が変化していきますが、秋の時期が最も青が濃く、深い色に染まることはあまり知られていません。黄葉と氷河湖が作り出す自然美は、まさに秋ならではの格別の美しさです。



▲雄大なテンピークスのパノラマが広がるラーチバレー

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 バンクーパー 着/発 カルガリー 着/発 キャンモア 着	東京発▶バンクーパーで乗り継ぎ▶カルガリーへ。到着後、ロッキーのゲートタウンであるキャンモアへ(専用車約1.5時間)。 【キャンモア泊 H】
2	キャンモア 滞在 ターミガンサーク・ハイキング	専用車で州立公園群のカナナスキスへ。登山口は標高2,200mを越えたハイウッド峠にあり、森林限界近くの登山口から登り始めます。迫力のある岩壁の景観と、色づき始めたカラマツの森を眺めながらの紅葉ハイキングをお楽しみください(徒歩約2.5時間)。 【キャンモア泊 H】
3	キャンモア 滞在 チェスターレイク・ハイキング	キャンモアからスプレイレイク・ロードを南下し、カナナスキス西部にある登山口へ。モミヤトウヒの森を抜けて、山上にひっそりと佇むチェスターレイクを目指します(徒歩約4時間)。湖の周辺では鋭く聳える岩山と、カラマツの黄葉の景色を楽しむことができます。 【キャンモア泊 H】
4	キャンモア 発 ラーチバレー・ハイキング クロッシング 着	バンフ国立公園のモレーンレイク湖畔からハイキングを開始。樹林帯の中をジグザグに登り、テンピークスのパノラマとカラマツの黄葉が一面に広がる展望地まで往復します(徒歩約4.5時間)。その後、専用車でアイスフィールド・パークウェイを北上し、クロッシングへ。人里から離れた森の中にある宿に2連泊します。 【クロッシング泊 L】
5	クロッシング 滞在 パーカーリッジ・ハイキング アサバスカ氷河観光	アイスフィールド・パークウェイを北上し、登山口へ。森林限界の先にある尾根に上がり、コロンビア大氷原より流れ出るサスカチュワン氷河を見下ろす展望地を目指します(徒歩約2.5時間)。下山後、専用車でジャスパー国立公園へ移動し、アサバスカ氷河観光へ。氷河の先端近くまで歩き、雪と氷の世界を体感します。 【クロッシング泊 L】
6	クロッシング 発 レイクアグネス・ハイキング バンフ 着	バンフ国立公園のレイクルイズへ。カナディアンロッキーの宝石と称される美しい湖、レイクルイズの観光を存分に楽しんだ後、湖畔にある登山口からハイキングを開始。樹林帯を緩やかに登り、途中でレイクルイズを眼下に望みながら、美しい山上湖レイクアグネスを目指します(徒歩約4時間)。下山後、専用車でバンフの町へ。人気のリゾートタウンに2連泊します。メインストリート沿いに連なるギフトショップや山道具屋でお土産を見たり、ボウ川沿いの散策路を歩くのもお勧めです。 【バンフ泊 H】
7	バンフ 滞在 ヤムナスカショルダー・ハイキング	専用車で大陸横断道路を東へ走りカナナスキスへ。カナディアンロッキー東側の玄関口にある巨大な屏風岩、圧倒的な存在感のあるMt.ヤムナスカの麓を歩き、絶景の展望地を目指します(徒歩約3～4時間)。眼下には広大なポプラの森が広がり、黄葉の最盛期に当たれば、一面が黄金色に染まる世界を楽しむことができます。秋の行楽シーズンは地元のハイカーにも大変人気なスポットです。 【バンフ泊 H】
8	バンフ 発 カルガリー 着/発	バンフ発▶カルガリー空港へ(専用車約2時間)。バンクーパーで乗り継ぎ▶東京へ。 【機中泊】
9	東京 着	午後、東京着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲美しい山上湖レイクアグネス



▲ヤムナスカ山麓に広がるポプラの黄葉

秋のカナディアンロッキー黄葉ベストハイキング9日間



世界が黄金色に染まるカナディアンロッキーの秋

カナディアンロッキーの秋は、一年の中でも特別な美しさを持つ季節です。夏の活気と賑わいが落ち着き、冬の静寂が訪れるその狭間。ほんのわずかな期間にだけ現れるこの季節は、まさに自然が芸術作品のような表情を見せる時期と言えます。



朝晩の冷え込みが日ごとに増していく9月下旬から10月初旬、ロッキー山脈の空気は一段と澄み渡り、空の青は深く染まります。ラーチ(カラマツ)の葉が黄金色に染まり、太陽の光を浴びてキラキラと輝く森と、3,000m級の山々が新雪で雪化粧した景色を想像してみてください。この黄葉、青空、新雪の白という三層のコントラストは、まさにカナディアンロッキーの秋だけに許された色彩の奇跡と言えます。

カナディアンロッキーの秋の魅力を最も感じる方法は、この美しい風景の中を「自らの足で歩くこと」にあります。登山道に一歩足を踏み入れれば、そこには秋ならではの静寂の世界が広がっています。秋はハイキングに最適な季節でもあります。日中の気温は過ごしやすく、虫も少ないため、体力的な負担を感じにくく快適に自然を楽しむことができます。また、秋は野生動物たちが冬に向けて活発に動く季節。エルクの群れが草原を歩き、冬眠に備えるマーモットが餌を集め、時には尾根の向こうにグリズリーベアの姿を見つけることもあるでしょう。

葉の落ち始めたトレイルを歩けば、足元からカサカサと小さな秋の音が響き、頭上では風に揺れる黄金の葉が柔らかな光を届けてくれます。そして標高を上げるにつれて景色は次第に変わり、やがて森を抜けると、新雪がほんのりと積もった白銀の世界が現れます。振り返れば、自分が歩いてきた道の美しさに改めて心を打たれることでしょう。この劇的な風景の変化を、自らの足で体験できるのが、秋のハイキングの最大の贅沢です。ツアーで訪れるハイキングコースはどれも黄葉の名所を厳選していますが、中でも人気の二つのコースを紹介します。



ラーチバレー カラマツの黄金色に染まる雄大な谷

秋のラーチバレーでのハイキングは、カナディアンロッキーを代表する季節限定の絶景を堪能できる特別な体験です。9月中旬から下旬にかけて、バレー一帯に広がるラーチ(カラマツ)の木々が一斉に黄金色に染まり、山全体がまばゆい光に包まれます。この時期、ラーチの葉は落葉針葉樹ならではの黄葉を見せ、雪をかぶったテンピークスとのコントラストは息をのむ美しさ。まるでファンタジーの世界に足を踏み入れたかのような光景が広がります。



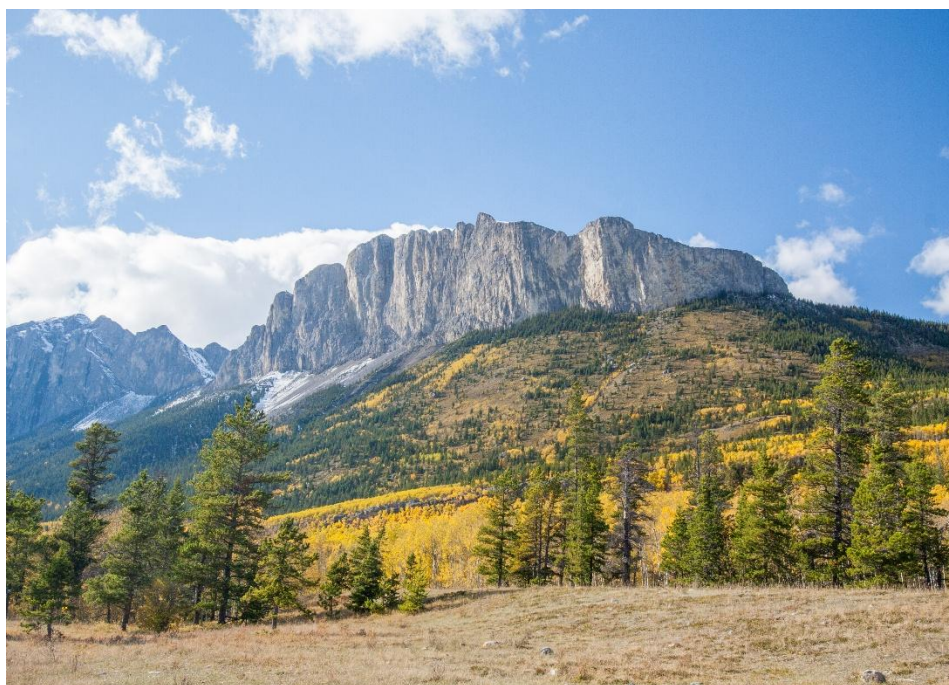
登山道は適度なアップダウンがあり、初心者から中級者まで楽しめるルートとして人気。静寂に包まれた森を歩くうちに、リスやナキウサギなどの野生動物と出会えることもあります。秋特有の澄んだ空気と、遠くまで見渡せるクリアな視界も魅力のひとつです。写真愛好家にも絶好の撮影スポットとなっており、黄金色のラーチと青空のコントラストは一枚の絵画のよう。限られた短い期間にだけ現れるこの幻想的な風景は、多くの人の心を惹きつけてやみません。

マウント・ヤムナスカ どこまでも続くポプラの森と大平原の広大な景色



秋のマウント・ヤムナスカでのハイキングは、アルバータ州東部の山岳地帯ならではの風景と静けさを味わえる、知る人ぞ知る名所です。ラーチバレーとは異なり、ここではラーチではなくポプラの黄葉が主役。なだらかな山裾に広がる広葉樹の森が、秋になると鮮やかな黄金色に染まり、風に揺れる葉が太陽の光を反射してきらめきます。特に朝や夕方の斜光の時間帯には、ポプラの葉がまるで金箔のように輝き、幻想的な雰囲気包まれます。

登山道は岩場の稜線や開けた草原を抜けるルートが特徴で、カナダスキスの広大な風景を一望できるポイントが随所にあります。人の少ない静かな山道を歩くことで、自然との一体感や内省の時間をじっくりと楽しむことができます。また、岩肌と黄葉の対比もこのエリアならではの魅力。鮮やかなポプラの黄葉と灰色の岩山が織りなすコントラストは、ラーチとはまた異なる秋の美しさを体感させてくれます。



宿泊施設にこだわった連泊型の滞在も魅力

現地7泊の滞在では、キャンモアとバンフ、そして山間のクロッシングに連泊する理想的な行程となっています。キャンモアは落ち着いた雰囲気の中で、地元の暮らしが息づく場所。ハーリン・ピークやスリーシスターズなどの名峰が聳えます。バンフは国立公園の拠点であり、メインストリートのバンフアベニューは、世界中から訪れた旅行者で賑わいをみせます。美しい山岳風景に包まれる町でのリゾートライフを楽しみましょう。旅の中盤は、喧騒を離れた特別な場所、クロッシングへ。ここはアイスフィールド・パークウェイ沿いの中継地でありながら、周囲に人工物がほとんどなく、真の自然との対話が叶う場所です。夜には満天の星、朝には氷点下の霧が山の間を漂う幻想的な世界。雄大な自然を独り占めしているかのような感覚は、ここに泊まった人だけの特権です。スマホの電波も届かないこの場所でこそ、本当に贅沢な「自然の中での滞在」が味わえるのです。



心を震わせる季節——秋のカナディアンロッキーで出会う特別な時間

夏には夜遅くまで日が沈まないカナディアンロッキーも、秋になると一転して日照時間が短くなり、山々の表情が劇的に変わります。朝日が山頂の雪を赤く染め、ラーチの黄葉が光を受けて一層鮮やかに輝く。そして空全体がオレンジやピンクに染まる幻想的なトワイライトの瞬間。その光景を目にしたとき、自然の中に溶け込むような深い安らぎに包まれます。カナディアンロッキーの秋は、単に美しいだけでなく、自然の静けさと奥深さに触れ、自分自身と向き合う時間を与えてくれます。毎日異なる景色に出会い、感動の連続が待っていることを約束された世界。それはまるで、大自然からの贈り物を少しずつ受け取っていくような旅の形です。自然の営みと人の心が静かに共鳴する——そんな体験を、秋のカナディアンロッキーはきっと与えてくれるはずです。